

理工学研究科 高山雄貴助教が土木学会論文奨励賞を受賞

【受賞内容】

平成 24 年 6 月 14 日 (木) に東京都で開催された土木学会第 98 回通常総会において、理工学研究科の高山雄貴助教が論文奨励賞を受賞しました。

この賞は、土木学会論文集等の土木学会刊行物に論文を発表し、土木工学における学術・技術の進歩、発展に寄与し、独創性と将来性に富むものと認められた若手研究者に与えられるものです。受賞論文「空間競争を考慮した Social Interaction モデルによる複数都心の創発」は、ミクロ経済学的基礎を持つ 2 種類の都心形成モデルを対比的に分析することで、複数の都心が形成・維持されるメカニズムを示した研究成果です。このメカニズムの理解は、都市の郊外化・中心市街地の空洞化（郊外への新たな都心の形成）といった現代の都市問題の本質的要因を把握し、適切な都市政策を考える基盤になると期待されることから、論文奨励賞に相応しいと認められ、今回の受賞になりました。

【賞状・副賞の楯】

